

第1号議案 2011 年度事業報告書

2011 会計年度 (2011.4.1 – 2012.3.31)

I. 研究活動

1. 第3回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援

1-1. 技術アドバイザーとして、研究委員会の多賀谷委員長、飯塚委員、港湾空港技術研究所の菊池委員ならびに、奥村事務局長が、第3回 IPA 研究助成賞受賞者である以下3名の元へ計3回訪問し、研究内容についてアドバイスをを行った。

東京大学 内村准教授 (2011年10月5日)

大林組 渡邊氏 (2011年11月17日)

金沢大学 松本教授 (2011年12月12日)

1-2. 法人会員の現場ニーズを、研究に反映させるための支援を行った。

2. 研究委員会において第3回圧入工学セミナーを開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努めた。

2-1. 『第3回 IPA 圧入工学セミナー』を2011年7月11日13:00から17:00まで高知新阪急ホテルで行い、約200名が参加し、講演の内容は以下の通りである。

講演1 『インプラント構造で世界の建設を変える』

講師: 株式会社技研製作所 安岡博之

講演2 『ケンブリッジ大学と技研製作所の共同研究成果』

講師: ケンブリッジ大学 教授 マルコム・ボルトン

／株式会社技研製作所 石原 行博

講演3 『中国における圧入技術の変遷と将来展望』

講師: 同济大学 教授 パン・ファンルー

講演4 『Deep Foundation Institute(DFI)とIPAの連携について』

講師: カナダ・マイケル・ジャステyson

講演5 『東日本大震災における津波と今後予想される津波について』

講師: 港湾空港技術研究所 特別研究官(地盤・構造研究) 菊池喜昭

講演6 『建設の五大原則の数値化』

講師: 株式会社CPC 取締役 塚本英樹

3. 第2号 IPA 研究論文集「Press-in Engineering 2011」を発行し、国立国会図書館等に寄贈するとともに、国内外大学、関連する学協会に配布した。

4. 第4回 IPA 研究助成賞応募要領を作成した(研究委員会で実施)。

II. 国際会議活動

1. 第4回 IPA 国際ワークショップの開催準備

1-1. ボルトン会長来日時に、第4回 IPA 国際ワークショップについて打合せを行った。

① 開催地をシンガポールとした。

② 第3回 IPA 国際ワークショップ同様、施工現場の見学会行うこととした。

1-2. 第3回 IPA 圧入工学セミナーに参加した、シンガポール大学の Leung 教授と連絡を取り、シンガポールでのワークショップ準備に着手した。

1-3. 奥村事務局長と田中監事が第4回 IPA 国際ワークショップの会場調査のためにシンガポールに出張し、5軒の大学及びホテル視察を行い、「マンダリンオーチャードホテル」に会場を決定した。

III. 委員会活動

1. 総会

1-1. 2011年度通常総会を2011年6月7日から7月4日に開催し、すべての議案を全会一致で決議された。

2. 研究委員会

2-1. 第1回研究委員会を2011年10月4日にIPCにて開催し、『建設の五大原則に関する小委員会の設置』と『第4回 IPA 研究助成賞の研究公募テーマ』について審議を行った。

2-2. 第2回研究委員会を2011年12月12日に金沢大学大学院にて開催し、金沢大学の松本教授を含め『第4回 IPA 研究助成賞』の推奨テーマについて議論をして、原案を作成した。

3. 広報委員会

3-1. 広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表などの広報活動を活発に行った。

IV. 広報活動

1. ホームページの更新

1-1. 国際圧入学会のホームページに種々の活動および、出版物に関するコンテンツを追加更新した。

2. 講演活動

2-1. 全国圧入協会の2011年度総会において、奥村事務局長が『IPA平成22年度活動』について講演した。

3. プレス発表

- 3-1. 第3回 IPA 国際ワークショップなどのイベント、研究成果などを新聞・雑誌に適時に発表した。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動

- 1-1. 技研製作所 IPA 推進室が主体となり、正会員、法人会員の勧誘活動を行った。

正会員 462 名

法人会員 26 社

学生会員 6 名

以上

第 2 号議案 2011 年度収支計算書及び監査報告書

2011 会計年度(2011.4.1-2012.3.31)

(単位: 円)

科 目	修正予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	200,000	200,000	0	2社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,620,000	4,590,000	△ 30,000	470名
法人会員年会費収入	3,100,000	2,800,000	△ 300,000	31口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	4,112	4,506	394	
事業活動収入計	10,924,112	10,594,506	△ 329,606	
2 事業活動支出				
① 第 3 回研究助成金支出	3,123,900	3,123,900	0	助成金5名未送金
第 3 回IPA国際ワークショップ	0	0	0	
第 4 回IPA国際ワークショップ 準備	520,000	561,624	41,624	開催地下見
第 2 回IPA助成賞論文査読料	0	0	0	
第 3 回IPA研究助成賞選考料	0	0	0	
第 3 回IPA研究助成賞受賞者研究支援	200,000	155,200	△ 44,800	
研究委員会委員謝金	150,000	95,000	△ 55,000	2回開催
中国圧入技術現状調査	0	0	0	
第 3 回圧入工学セミナー	883,889	883,889	0	高知で開催
第 4 回圧入工学セミナー	0	141,780	141,780	東京で開催
「Press-in Engineering 2011」印刷代	529,200	529,200	0	
海外会員活動支援	600,000	508,595	△ 91,405	上海への出張
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	550,000	133,350	△ 416,650	
会員証作成費用	0	0	0	
印刷代	40,000	12,350	△ 27,650	
翻訳代	45,660	45,660	0	
国内外送料	150,000	144,330	△ 5,670	
通信費	80,000	94,730	14,730	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
I P C 事務用品費	110,000	170,464	60,464	
支払手数料	100,000	67,812	△ 32,188	
③ 国内交通費				
事務局員	250,000	419,250	169,250	
研究委員会開催費	250,000	343,657	93,657	2回開催
④ 支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	10,582,649	10,430,791	△ 151,858	
事業活動収支差額	341,463	163,715	△ 177,748	

(単位: 円)

科 目	修正予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	4,000,000	4,000,000	0	
投資活動収入計	4,000,000	4,000,000	0	
2 投資活動支出				
② 固定資産取得支出				
定期預金支出	6,000,000	6,000,000	0	
投資活動支出計	6,000,000	6,000,000	0	
投資活動収支差額	△ 2,000,000	△ 2,000,000	0	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	112,000	49,548	△ 62,452	
研究予備費	100,000	0	△ 100,000	
当期収支差額	△ 1,870,537	△ 1,885,833	△ 15,296	
前期繰越収支差額	4,293,458	4,293,458	0	
次期繰越収支差額	2,422,921	2,407,625	△ 15,296	

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2012 年 4 月 2 日

監事

田中孝明

監事

Almy Kyle 印

In our opinion, the above statement of accounts are presented fairly in all material respects.

2, April, 2012,

Auditor

Auditor

Almy Kyle 印

第 3 号議案 2012 年度事業計画書

2012 会計年度 (2012.4.1 – 2013.3.31)

I. 研究活動

1. 第4回 IPA 研究助成賞の公募と授与
 - 1-1. 4月16日 プロポーザル公募を開始
 - 7月15日 プロポーザル提出締切り
 - 9月13日 審査終了
 - 9月14日 受賞者に連絡
 - 12月6日、7日 第4回 IPA 国際ワークショップ開催時に授与式の実施
2. 第3回 IPA 研究助成賞受賞者の論文作成支援
3. 第4回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援
 - 3-1. 圧入技術の専門家を技術アドバイザーとして指名し、受賞者の研究を支援する。
 - 3-2. 法人会員の現場ニーズを、研究に反映させるための支援をする。
4. 圧入施工指針及び、圧入設計指針の策定に着手
5. IPA 研究論文集第3号「Press-in Engineering 2013」の編集と出版準備
6. 圧入中に地盤物性を評価する方法の確立(研究委員会で実施)
 - 6-1. PPT(Pile Penetration Test)技術をオーソライズする。
7. 第4回 IPA 国際ワークショップの報告会、圧入工学セミナー、研究成果発表会等を開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努める。

II. 国際会議活動

1. 第4回 IPA 国際ワークショップを12月6日～7日にシンガポールで開催する。主な、準備と内容は以下のとおりである。
 - 1-1. プログラム及び圧入施工のデモンストレーション現場について検討する。
 - 1-2. 第4回 IPA 研究助成賞授与式と主な研究計画の発表
 - 1-3. 第3回 IPA 研究助成賞受賞者による主な研究成果論文の発表
 - 1-4. 最新の圧入技術、施工実績、シンガポールにおける圧入技術の普及等に関する講演、圧入施工のデモンストレーション現場見学会等

2. 第5回 IPA 国際ワークショップ開催候補地の検討
3. 産学官との連携強化
 - 3-1. ASCE、DFI、国際地盤工学会、中国土木工学会、上海土木学会等と情報交換
 - 3-2. シンガポール国立大学、同済大学、国立台湾大学、成功大学等と連携強化を図る。

III. 委員会活動

1. 総務委員会の活動を充実させ、財政基盤を強化する。
2. 研究委員会にて、機械・計測分野の委員を拡充し、研究活動を活発にする。また、現場計測データなどの解析を行って、地下の可視化に重点を置いた研究活動を行う。
3. 研究委員会にて、産学官連携の研究活動を推進する。
4. 研究委員会の中に査読委員会を設けて、第3回 IPA 研究助成賞受賞者の研究成果論文を査読する。
5. 表彰委員会の中に選考委員会を設けて、第4回 IPA 研究助成賞に応募されたプロポーザルの選考を行う。
6. 広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表等の広報活動を活発に行う。

IV. 広報活動

1. ホームページの改訂を随時行い、コンテンツの更新を速め、会員専用サイト等の拡充等を行う(外注も一部活用)。
2. 第4回 IPA 国際ワークショップ、圧入工学セミナー等のイベント、研究成果等を新聞・雑誌等に適時に発表する。
3. 全国圧入協会総会における講演等、国際圧入学会の活動を紹介する講演活動を実施する。
4. 圧入工法の発注者に向けた広報活動を活発に行い、発注仕様書に反映させる支援を行う。今年度は、東日本大震災被災地の復興支援に重点を置く。

V. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動を積極的に行い、法人会員を拡大する活動を充実させる。特に、全国圧入協会と連携し、そのイベント等を活用して法人会員の拡大を図る。
2. IPC 国際圧入センターを活用して、会員サービスを積極的に行う。
3. 国内外の法人会員や正会員の活動を積極的に支援する。今年度は、シンガポール、タイ、上海、台湾等のアジアに重点を置いて活動する。

以上

第4号議案 2012 年度収支予算書

2012 年度会計(2012.4.1-2013.3.31)

(単位: 円)

科 目	2011年度決算額	予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	200,000	200,000	0	2社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,590,000	4,600,000	10,000	460名(1名増)
法人会員年会費収入	2,800,000	3,000,000	200,000	30口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	4,506	2,000	△ 2,506	
事業活動収入計	10,594,506	10,802,000	207,494	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第3回研究助成金支出	3,123,900	0	△ 3,123,900	
第4回研究助成金支出	0	4,000,000	4,000,000	
第4回IPA国際ワークショップ開催費	0	5,000,000	5,000,000	
第4回IPA国際ワークショップ準備	561,624	300,000	△ 261,624	ACUUS
第4回IPA国際ワークショップ報告会	0	200,000	200,000	東京・高知
「Press-in Engineering 2011」印刷代	529,200	0	△ 529,200	
第3回IPA助成賞論文査読料	0	180,000	180,000	12件×3名
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	155,200	100,000	△ 55,200	金沢等
第4回IPA研究助成賞選考料	0	150,000	150,000	10件×5名
第4回IPA研究助成賞受賞者研究支援	0	100,000	100,000	
研究委員会委員謝金	95,000	100,000	5,000	
第3回IPA圧入工学セミナー	883,889	0	△ 883,889	
第4回IPA圧入工学セミナー	141,780	0	△ 141,780	
第5回IPA圧入工学セミナー	0	350,000	350,000	高知
海外会員活動支援	508,595	100,000	△ 408,595	台湾(SSMS2012)
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	140,000	6,650	
会員証作成費用	0	20,000	20,000	
印刷代	12,350	40,000	27,650	
翻訳代	45,660	50,000	4,340	
国内外送料	144,330	150,000	5,670	
通信費	94,730	80,000	△ 14,730	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
IPC事務用品費	170,464	150,000	△ 20,464	
支払い手数料	67,812	400,000	332,188	助成金送金等
③ 国内交通費				
事務局員	419,250	200,000	△ 219,250	
研究委員会開催費	343,657	200,000	△ 143,657	
支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	10,430,791	15,010,000	4,579,209	
事業活動収支差額	163,715	△ 4,208,000	△ 4,371,715	

(単位: 円)

科 目	2011年度決算額	予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	4,000,000	2,000,000	△ 2,000,000	
投資活動収入計	4,000,000	2,000,000	△ 2,000,000	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金支出	6,000,000	0	△ 6,000,000	
投資活動支出計	6,000,000	0	△ 6,000,000	
投資活動収支差額	△ 2,000,000	2,000,000	4,000,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	49,548	50,000	452	
研究予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,885,833	△ 2,258,000	△ 372,167	
前期繰越収支差額	4,293,458	2,407,625	△ 1,885,833	
次期繰越収支差額	2,407,625	149,625	△ 2,258,000	

第 5 号議案 理事選任

理事選任

I. 理事の選任

1. 定款第 12 条に基づき、理事の新任をする。

任期は通常総会終了後から他の理事および監事と同じ 2014 年までとする。

【副会長候補者】

氏名 : 彭 芳楽(パン・ファン・ルー)
現所属 : 同済大学 土木工学部地盤工学科 地下空間センター所長
役職 : 教授
国籍 : 中華人民共和国

学歴

1983.9～1987.7 上海・同済大学土木工学科 学士
1987.9～1990.3 上海・同済大学地盤工学科 修士課程
1997.4～2000.9 東京・東京大学工学部土木工学科 博士課程

職歴

1990.4～1991.3 上海・同済大学地盤工学科 教育補助
1991.4～1993.11 上海・同済大学地盤工学科 助教授
1993.12～1997.3 東京・日本シールドトンネルコンサルタント(株) 研究員
2000.10～2001.9 東京・東京大学工学部土木工学科 ポスドク・リサーチフェロー
2001.10～2004.9 東京・白石(株) 技術開発本部 主任研究員
2004.10～現在 上海・同済大学地盤工学科 教授
2010.6～現在 国際圧入学会 理事
2010.10 第 3 回 IPA 国際ワークショップで特別講演
2011.7 第 3 回 IPA 圧入工学セミナーで講演

研究分野

地盤工学における構成的モデル化及び数値解析、ジオテキスタイル等で補強した土構造、先端的な地下構造の施工方法、都市における地下空間の計画。

本を 2 冊執筆し、120 編以上の論文を執筆。

「Press-in Engineering 2011」に、査読付論文を投稿。

【理事候補者】

氏名 : リャン・チュン・フェイ
現所属 : シンガポール国立大学
役職 : 教授
国籍 : シンガポール

学歴

1977 イギリス リバープール大学土木工学科 学士
1981 イギリス リバープール大学土木工学科 博士

職歴

プロフェッショナル・エンジニア(PE)(地盤工学専門)(シンガポール PE 会認定)
チャータード・エンジニア(イギリス・チャータードエンジニア会認定)
シンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシア、ブルネイ、サウジアラビアの
100 件以上のプロジェクトで地盤工学専門のコンサルタントとして活動。

研究分野

基礎地盤、構造物—地盤の相互作用、海洋地盤工学の研究について雑誌や会議等で
100 件以上発表。
国際地盤工学会および海洋土木会で約 20 件の基調講演および招待講演。
多くの国際地盤工学および海洋土木工学関連の雑誌の編集委員。
ISO ジャッキアップ基礎パネルの技術委員会委員。

【理事候補者】

氏名 : 菊池 喜昭
現所属 : 東京理科大学 理工学部 土木工学科 学士
役職 : 教授
国籍 : 日本

学歴

1977.4～1981.3 東京大学工学部土木工学科 学士
1981.4～1983.3 東京大学大学院理工学研究科(土木工学専攻) 修士課程

職歴

1983.4～1987.5 運輸省 港湾技術研究所 土質部土性研究室 研究官
1987.5～1988.4 運輸省 第五港湾建設局 設計室 工事専門官
1988.5～1989.3 運輸省 第五港湾建設局 設計室 建設専門官
1989.4～1996.5 運輸省 港湾技術研究所 土質部 主任研究官
1996.5～2001.3 運輸省 港湾技術研究所 土質部 基礎工研究室長
2001.4～2009.3 独立行政法人 港湾空港技術研究所 地盤・構造部 基礎工研究室長

2009.4～2011.3 独立行政法人 港湾空港技術研究所 地盤・構造部長
2009.4～現在 国際圧入学会、研究委員会 委員
2010.10 第3回 IPA 国際ワークショップで特別講演
2011.4～2012.3 独立行政法人 港湾空港技術研究所 特別研究官
2011.7 第3回 IPA 圧入工学セミナーで講演
2012.4～現在 東京理科大学 理工学部 土木工学科 教授

研究分野

港湾施設の基礎工に関する研究
産業・建設副産物の地盤材料としての再利用に関する研究
構造物の信頼性設計法に関する研究
「Press-in Engineering 2011」に、査読付論文を投稿。

【理事候補者】

氏名 : 松本 樹典
現所属 : 金沢大学理工研究域環境デザイン学系
役職 : 教授
国籍 : 日本

学歴

1974.4～1978.3: 金沢大学工学部土木工学科 学士
1978.4～1979.3: 金沢大学大学院自然科学研究科 研究生
1979.4～1981.3: 金沢大学大学院自然科学研究科 土木工学専攻 修士課程
1989.3: 京都大学工学博士 「鋼管杭の動的および静的支持力評価に関する研究」

職歴

1981.4～1991.3: 金沢大学工学部土木工学科 助手
1991.4～1998.3: 金沢大学工学部土木工学科 助教授
1999.4～2008.3: 金沢大学工学部土木建設工学科 教授
2008.4～現在 : 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授(大学改組による)
1994.3～1994.11: デルフト工科大学土木工学科地盤研究室 在外研究員
2009.4～現在 : 国際圧入学会 研究委員会 委員
2011.7 : 第3回IPA圧入工学セミナーで総括

研究分野

杭基礎, 杭動力学, 杭基礎の変形解析, 杭載荷試験方法, 地盤定数と杭支持力の関係などに関して 190 編以上の論文を執筆。